

会 議 録

名 称	令和5年度 第1回 登米市部活動地域移行等検討委員会
開催日時	令和5年11月20日(月) 午後6時00分 開会 午後8時00分 閉会
開催場所	中田生涯学習センター 教室1
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登米市小学校長会長(登米小校長) 秋葉 徹 ○ 登米市中学校長会長(佐沼中校長) 及川 幸男 ○ 登米市中学校体育連盟会長(豊里小中校長) 長倉 清敬 ○ 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 関 壮一 ○ 登米市陸上競技協会 会長 飯塚 敏郎 ○ 登米市バスケットボール協会 副会長 芳賀 昌幸 ○ 登米市サッカー協会 3種育成部長 尾上 健 ○ 登米市野球協会 会長 工藤 初夫 ○ 登米市ソフトテニス協会 事務局 佐藤 孝 ○ 登米市卓球協会 会長 門脇 昭雄 ○ 登米市柔道協会 事務局 佐々木 克之 ○ 登米市剣道連盟 会長 熊谷 敏明(代理 鈴木 光潮) ○ 登米市アーチェリー協会 事務局長 芳賀 裕考 ○ 登米市スポーツ少年団本部 本部長 木村 健喜 ○ 登米市総合型スポーツクラブ連絡協議会 会長 佐々木 悦郎 ○ 登米ジュニア吹奏楽団 団長 只野 正昭 ○ 元中学校美術教諭 主任児童委員 及川 英之
事務局等職員 職・氏名	<ul style="list-style-type: none"> ○登米市教育委員会 教育長 小野寺 文晃 次長兼学校教育管理監 飯川 弘芳 学校教育課長 猪股 勝徳 生涯学習課長 守屋 乃扶子 生涯学習課 主幹 高橋 美香 生き生き学校支援室長 林 宏也 生き生き学校支援課長補佐 佐々木 貴仁 指導主事 友永 明子 指導主事 金田 弘子
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 教育長挨拶</p> <p>本日は足元の悪い中お集まりいただきありがとうございます。また、委員をお引き受けいただき重ね重ねありがとうございます。</p> <p>部活動地域移行はすでにお聞きのとおりですが、どうするかとなったとき難しい問題であります。地域によって課題はさまざまなので他地域と同じにできない、登米市に合ったやり方が必要であると思っています。地域移行という考え方というよりは、少子高齢化が進んでいる中、子供たちの活動の場をいかに確保し、スポーツに親しむ環境をどうつくっていくかということが大きな柱となっていると考えています。その延長上、それを成しえたときにはじめて部活動の地域移行につながっていきます。</p> <p>各団体の代表の方に集まっておりますので、それぞれの団体の立ち位置、その環境も違いますので、一様にどこかの団体ができたからみんなや</p>

らなければならないというわけではなく、やれるところから順次子供たちの活動の保障をするように、知恵と力を出し合って前に進めていけたらいいと思っています。

文部科学省が示している令和7年度からということではなく、できるところから無理をしない中で子供たちや地域の皆さんの笑顔に通ずる地域移行となる取組となればいいなと考えております。

4 自己紹介

5 会長・副会長の選出

会 長：登米市中学校体育連盟会長 長倉 清敬 様

副会長：特定非営利活動法人登米市体育協会会長 関 壮一 様

6 会長挨拶

7 報告・説明

(1) 登米市部活動地域移行等委員会設置要綱について

(2) 国・県のガイドラインについて

(3) 先進地区の取組について

(4) 今後のスケジュールについて

8 協議

(1) 資料及び活動に関する意見交換について

○ 登米市スポーツ少年団 本部長 木村 健喜 様

・ 国・県のガイドラインは周知されていると思うが、学校の先生、生徒が中心となることなので、どのように考えているのか聞いてみたい。そこをおこを踏まえた形で進めていきたい。

・ 持続可能というが後継者問題が出てくる。後継者の育成など、学校単位なのか市単位なのか、全体をみる組織が欲しい。

・ 登米市型の移行パターンがあってもいい。学校が離れるというのではなく、連携していきたい。子供たちが地域で活動していることを先生が評価できると良い。

○ 登米市ソフトテニス協会 事務局 佐藤 孝 様

・ 地域移行になると保険はどうなるのか。スポ少とダブルで掛けることになるのか。

(事務局)

→ 5名以上だとスポーツ安全保険が掛けられる。それぞれ保険を掛けることになる。万が一のケガに備えて保障ができるように保険の内容を確認しながらそれぞれ掛ける。

・ テニスは10校中6校ある。半数がスポ少に入っている。

・ すでに合同練習会を行っている。A東和、B中田、C南方、D佐沼には指導者がいる。テニスは専用の場所なので調整がいらぬ。生徒、保護者にA、B、C、Dのどこにいきたいのかなどアンケート等を取れば、指導者も確保できる。

・ テニスは合同練習会をしているので、取り組めそうだ。

○ 登米市総合型スポーツクラブ連絡協議会 会長 佐々木 悦郎 様

・ 平日、先生方は携わるのか。休日は別の人が行うのは分かるが。

(事務局)

→ 現段階では休日の移行となるので、平日は今までどおり。土日の試合や繁忙期は休日行って、平日を休みにするなど考えられる。

・ 働き方改革がメインように捉えてしまったのでどうかと思った。

(事務局)

→ そのような訳ではない。休日に部活動をやりたいと考えている先生方もいると思われるので調査する必要がある。

(教育長)

- ・ 国の考えが二転三転している。部活は子供が主体なのに、最初、働き方改革だと言っていた。平日は部活、休日は別のことをやってもいいというように文部科学省の考えが見えない。登米市らしさでやっていきたい。
 - ・ 保険に関して、平日は学校（安全会）で、休日は別ということになる。これから新しい保険ができてくるのではないか。様子を見ながらやっていいのではないか。
 - ・ 先ほどの話からテニスは進められるが他はどうなのか。
 - ・ 理想だと思っている地域があって、福島市の会津若松では、合同練習ができる種目からスタートしている。会津若松の教育長があまり無理をしないで、子供たちが喜んでくれたらいいし、やれることを淡々とやる。これを地域移行と言われたらそれでよいのだと話されていた。
 - ・ 宮城県南は仙台大学があるので進んでいる。それを同じように登米市ではできない。
 - ・ 部活動の全員加入制の是非も問われている。文部科学省では働き方改革だと小さな波紋を起こしたつもりが大きな波紋となって返って来ている。あせらずにできるところから進めていきたい。例えば、競技者の少ないところは合同とかでやっていく。
 - ・ 文部科学省では地域総合型スポーツクラブの設置を想定しているが、登米市では可能なのか。登米市としての仕組みづくりをしていきたいと考えている。文化部も同様に、発表の場等を提供していきたい。
- 元中学校美術教諭 主任児童委員 及川 英之 様
- ・ 事故やけががあると学校に苦情がくる。地域移行となり苦情がきた場合の最終的な責任者はどこかを考えていきたい。
- 登米ジュニア吹奏楽団 団長 只野 正昭 様
- ・ 迫吹奏楽団は地域の子供を育てようと始まった。始めは大人と子供で活動していたが、今は子供だけの活動となっている。
 - ・ 活動場所と楽器の購入等が課題であり、学校の協力が必要である。
 - ・ 夜の活動となるので送迎など家庭の協力も必要である。
 - ・ 保険は掛けていない。
 - ・ スポーツとは違う面がある。
- 登米市アーチェリー協会 事務局長 芳賀 裕考 様
- ・ 平成13年みやぎ国体のときに創設された。
 - ・ アーチェリーは個人競技なので一人でも活動は可能だが、50m、70mとフェンスやネットを張った安全が確保された場所が必要となる。錦織運動公園か東和中学校での活動になるため送迎問題がある。
 - ・ アーチェリーは細々とやっているのでも、部活を担うことができるのかは疑問である。また、指導者を生み出すことも難しい。
- 登米市剣道連盟 事務局 鈴木 光潮 様
- ・ 格闘技系は人数が少ないため、市全体で見ようという考えになりつつあるが、送迎の問題がある。
 - ・ 先生と保護者の距離が昔よりも開いていると思う。誤解や軋轢などがあり、そのような状況の中で地域移行におけるボランティアの協力が可能なかが心配である。
 - ・ 競い合う競技と楽しむ競技と同居するにはどうすればよいか考える必要がある。
- 登米市柔道協会 事務局 佐々木 克之 様

- ・ 佐沼、豊里、米山、南方の4校にしかない。その部員の中で半数はスポ少に入っている。
- ・ 地域移行となると柔道の指導者は全日本柔道連盟の資格がないとできないので、スポ少の指導者が携わることになる。そのような中で、町域を超えてはいけないという決まりはあるのか。

(事務局)

→ 決まりはない。

- ・ そうなると勝利至上主義の指導者が強い子供だけを引っ張っていくことを懸念している。中心部には実際にあると聞いている。
- 登米市卓球協会 会長 門脇 昭雄 様
 - ・ 学校の体育の果たしてきた役割が大きい。部活動を一所懸命に取り組みたいという先生方もいると思われるので、先生方や生徒の声が聞きたい。
 - ・ 指導者を育てなければいけない。これから資格を取るとなると大変なので、そのようなことも踏まえた持続可能な体制づくりを整備しないといけないのではないか。現に卓球は後継者がいない状況である。
- 登米市野球協会 会長 工藤 初夫 様
 - ・ 全ての中学校にあるが、少子高齢化のため1校でチームがつかれないため、合同で行っている学校がある。
 - ・ 学校の先生方が監督となって頑張ってもらっているが、コーチも父母も土日などに一生懸命取り組んでいる。
 - ・ 野球についてどのような地域移行がよいかピンときていない。野球協会としてどう進んでいくべきか指導者等の意見を聞きたい。今後、子供たちのためによい方向に進むよう努めたい。
- 登米市サッカー協会 3種育成部長 尾上 健 様
 - ・ 市内に4校にあるが、そのうち3校は11人に満たない部員数である。ルールブック上7人いれば出場を認めているが、ケガなどした場合7人を下回る。そのため、新人大会では7人以下でも出場を認めたが、理想としては人数そろった状況が望ましい。
 - ・ サッカーも部員が減り、週1～2回合同練習会を行っている。登米市合同チームとして練習試合を行っている。登米中学校にナイター設備があるので、登米中学校で行うことが多いが、遠方だと送迎の負担が大きい。練習会では、指導者の引率が原則とし、指導者がいないときは参加できない。
- 登米市バスケットボール協会 副会長 芳賀 昌幸 様
 - ・ バスケットボール協会では、小・中・高、それぞれのグループで活動をしている中で、部活動やスポーツ少年団、そして最近はクラブチームもできている。クラブチームの大会にも出場した。
 - ・ 指導者として協会からのライセンスを得ないとベンチに座れない。
 - ・ 子供ファーストで考えていきたい。子供たちはどう考えているのか知ることが地域移行に向けて大切であると考えている。
- 登米市陸上競技協会 会長 飯塚 敏郎 様
 - ・ お願いとしては、活動場所の確保をしっかりと行ってほしい。
 - ・ 指導者の育成も急務である。専門指導員に入っていないとクラブを立ちあげられない。登米市には、専門指導員の資格を持っている人が少ないので、専門指導員の資格を取るためのお金や登録料が掛かる。
 - ・ 11月に栗原の陸上競技場を借りて中・高の登米市の陸上記録会を実施したが、多くの子供たちが出場できたこともあり喜んでもらった。また、本大会における保険も掛けて実施した。
- 登米市中学校長会 会長 及川 幸男 様
 - ・ 佐沼中学校の現状は、生徒数が減少しているが部数はそのままであるため、部員数が減っている。

- ・ 男子ソフトボール部は今年、3年生7人、1年生3人が所属し、全国大会に参加したが、3年生が引退し令和6年度の活動は難しい。1年生はすでに別の部活で活動している。
- ・ 佐沼中学校はそれなりに部活の選択の幅がある。他の中学校では、やりたい競技ができない学校もあるので、子供のニーズに合わせて考えていきたい。
- ・ 部活動の地域移行については今後の形が示せないなので、どの学校も保護者・生徒に話をしていない。
- ・ 教員は自分がやってきていない競技をもつこともある。家庭を抱えて行っている。反面、部活で得られることも多い。保護者や外部指導者との関係に悩むこともある。
- ・ 佐沼中学校では、ボート部や箏曲部など、地域の方に一生懸命教えてもらっている。市全体の体制づくりが必要であると考えている。

○登米市小学校長会 会長 秋葉 徹 様

- ・ 3月、卒業間近の子供たちに何部に入ると聞くとそれぞれの返答がある。小学校だと、中学校に何部があるのか分からず、子供の話に合わせている。同じように、どの中学校に何部があるのか分からない親もいることと思う。保護者に対しての周知の方法を考え、理解が得られるようにしていく必要がある。

○ 登米市陸上競技協会 会長 飯塚 敏郎 様

- ・ すでにボランティアで行っているが活動への保障などあるのか。
- ・ ボランティアでやるのが当たり前だと思ってきたが、保障もないのに、何か起こった時は賠償問題が出てくる。「子供たちのため」だけではできない。

(事務局)

→ 示されていないので困っている。受益者負担が原則であるが皆様からご意見をいただきながら進めていきたい。

○ 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 関 壮一 様

- ・ 昔は郡大会、県大会、全国大会…と夢があった。それには地域の方の協力があつた。
- ・ 部活動の地域移行のために、焦ることなく子供たちのために意見をもっともっと出し合いながらやっていきたい。

○ 登米市中学校体育連盟 会長 長倉 清敬 様

- ・ 県中体連 初めて地域クラブチームが認められて参加となった。今年度は6種目20団体が出場した。全国的にはまだ温度差がある。

(2) その他

(事務局)

- ・ 様々な意見やアドバイスをいただきありがとうございます。
- ・ 次にやることが見えてきました。例えばアンケートを行うなど。
- ・ 多くの方々が興味を持っているのでホームページに議事録を載せたい。
- ・ 各協会等でもいろいろ話題にして、2回目に教えていただきたい。

(2) その他

6 閉会の挨拶 副会長

7 閉会